



追加型投信 / 海外 / 株式

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2020年9月30日**米国IPOニュースステージ・ファンド**

＜為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし＞(年2回決算型 / 資産成長型)

足下の運用状況と米国IPO市場の動向

平素より、「米国IPOニュースステージ・ファンド＜為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし＞(年2回決算型 / 資産成長型)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

本資料では、足下の運用状況と米国IPO市場の動向等についてご報告いたします。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本レポートのまとめ**■ 設定来の運用状況 | 9月のマーケットは下落、マザーファンドは上昇 (2ページ)**

当ファンドの実際の運用を行うマザーファンドは、2019年11月15日の設定日から68.1%上昇しました。(2020年9月30日現在)

特に2020年9月は、ナスダックが下落した一方で、マザーファンドは上昇しました。

■ 今後の市場見通し | 11月の米国大統領選挙に向けて、米国株式市場の変動率が高まると予想 (3ページ)

2020年11月の米国大統領選挙に向け、株式市場の変動率が高まることが予想されますが、「米国経済の回復」という目指すゴールが株式市場に理解されれば、選挙後の株式市場は安定に向かうと予想しています。

■ 2020年8月の新規組入銘柄のご紹介 | 最新デジタル技術を活用 (4～5ページ)

高級ブランドを扱うeコマース運営企業である「ファーフェッチ」や慢性疾患患者へオンライン診療サービスを提供する「リヴオンゴ・ヘルス」をご紹介します。

「ファーフェッチ」は独自の物流管理・在庫管理のテクノロジー、「リヴオンゴ・ヘルス」は患者へのアドバイスにAIを駆使するなど、両社ともに最新のデジタル技術を活用しています。

■ 米国IPO市場の動向 | 2020年6月以降高水準が継続 (6～7ページ)

2020年6月以降IPO件数も資金調達額も高水準が継続し、米国IPO市場は活況となっています。一方で、過熱感や話題先行の兆しが見受けられ、金融緩和などによって行き場を失った余剰資金が、優れていると考えられる企業に集中し株価が高騰する傾向が一部見られます。

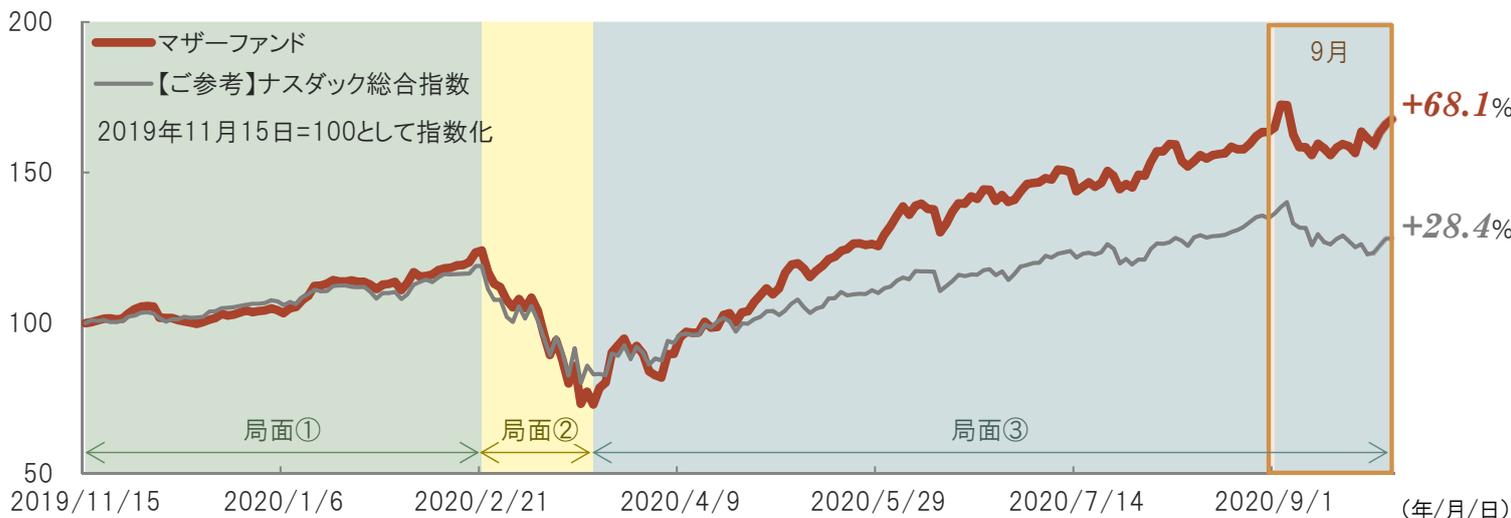
※本資料は米国IPOニュースステージ・ファンド＜為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし＞(年2回決算型 / 資産成長型)の運用状況を投資家のみなさまにご紹介するために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

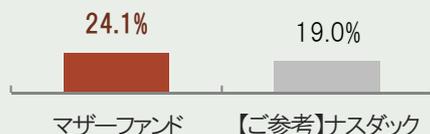
米国IPOニューステージ・ファンド<為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(年2回決算型/資産成長型)

設定来の運用状況

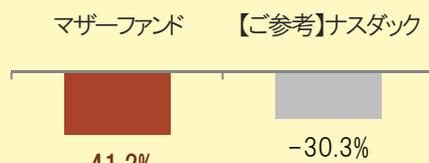
(期間:2019年11月15日(設定日)~2020年9月30日)



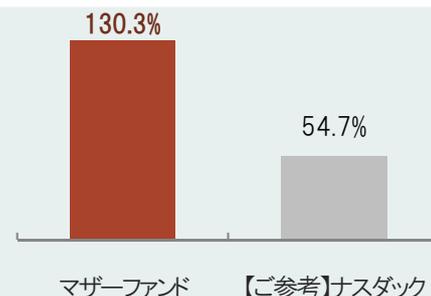
局面①*騰落率



局面②*騰落率

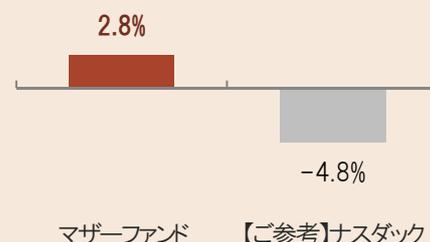


局面③*騰落率



2020年9月*の市況動向・運用状況と騰落率

- 2020年9月の米国株式市況全般は下落しました。欧米における新型コロナウイルス(以下、新型コロナ)の感染再拡大に加えて、米国における追加景気刺激策の動向や米中の政治的対立などが不透明要因となり、2020年3月下旬以降上昇基調で推移してきた株価は下落しました。
- ナスダックも下落となりましたが、成長期待の高いIPO銘柄は全般的に底堅い動きとなったことに加え、保有するピンタレスト、ズーム・ビデオ・コミュニケーション等が堅調に推移したことから、基準価額は上昇しました。



*局面毎の騰落率は、局面①:2019年11月15日と2020年2月21日、局面②:2020年2月21日と2020年3月19日、局面③:2020年3月19日と2020年9月30日、2020年9月:2020年8月31日と2020年9月30日の値を用いて計算しています。・マザーファンドはファンドの実際の運用を行う米国IPOニューステージ・マザーファンドです。マザーファンドでは、信託報酬はかかりません。・上記の期間(2019年11月15日~2020年9月30日)で<為替ヘッジあり>(年2回決算型):96.6%~101.0%、<為替ヘッジなし>(年2回決算型):98.9%~99.8%、<為替ヘッジあり>(資産成長型):96.9%~100.9%、<為替ヘッジなし>(資産成長型):98.4%~99.8%の各ファンドの純資産総額に対する割合でマザーファンドを組み入れています。・ナスダック総合指数は、米ドルベースの指数(配当込)を使用しており、三菱UFJ国際投信が円換算しています。また同指数は、マザーファンドの基準価額の算出基準日に対応する現地時間に基づき記載しております。なお同指数は、あくまで市況推移の参考として掲載しており、当ファンドおよびマザーファンドのベンチマークではありません。よって、当ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

米国IPOニューステージ・ファンド〈為替ヘッジあり／為替ヘッジなし〉(年2回決算型／資産成長型)

今後の市場見通し

2020年3月下旬以降、米国株式市場は急速な戻り基調となりましたが、期待先行で上昇していると考えられた面もあり、現行水準からの上値は重いと考えます。小売売上高が回復するなど一部の経済活動再開の動きやワクチン開発の進展が、景気回復期待を支援する一方で、感染再拡大の懸念も残る中、景気や企業業績が期待通りに回復するかが今後の注目点となると考えられます。

景気や企業業績への不透明感は払拭されるに至っていませんが、主要国の政府と中央銀行が、景気の落ち込みを防ぐため、財政政策や金融政策を総動員する姿勢を示していることは、引き続き株式市場の下支え要因になり、下値は限定的と考えられます。

〈大統領選挙について〉

2020年11月の大統領選挙に向けては、様々なニュースが飛び交い、株式市場の変動率が高まることが予想されますが、トランプ大統領もバイデン前副大統領も「米国経済の回復」という同じゴールを目指すとみられます。増税・減税や景気対策の規模といった方法論に違いはありますが、目指すゴールが株式市場に理解されれば、選挙後の株式市場は安定に向かうと予想しています。

米国の小売売上高・鉱工業生産(前年比)の推移

(期間:2010年1月~2020年8月)



(出所)米商務省、米連邦制度準備理事会(FRB)のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

2020年米大統領選 当選予想*

(期間:2019年12月4日~2020年10月5日)



*様々な選挙や政治人事などを賭けるサイトであるPredictItでの予想 (出所)PredictIt、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

今後の運用方針

当ファンドは、株式公開(IPO)から概ね5年以内の中型以上の米国株式への投資を基本とし、新技術やビジネスモデルなどに着目し、企業収益の成長性が見込まれる銘柄を選定します。

新型コロナの感染拡大を背景とした足下の不透明な環境下、ソフトウェアや小売、バイオ医薬品の分野で優れた企業が多いと考えており、当ファンドの銘柄選定において着目しています。

新型コロナの感染拡大による景気後退や企業業績の下方修正が懸念されるようですが、米国IPO銘柄は相対的にその影響を受けにくい企業が多く存在すると考えています。具体的には、ソフトウェアやバイオ医薬品の分野は言うまでもなく、小売関連の米国IPO銘柄も新しいビジネスモデルを活用して消費者に独自のサービスを提供しているため、今回の新型コロナの感染拡大を契機とした構造的な社会経済の変化の恩恵をむしろ受けると考えています。

今後も当ファンドを通じて、魅力的な米国IPO銘柄への投資機会を皆さまに提供できるよう全力を上げ有望と考える銘柄の発掘に臨みます。

安井 陽一郎
-運用担当者-

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

米国IPOニュースステージ・ファンド<為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(年2回決算型/資産成長型)

2020年8月の新規組入銘柄

ファーフェッチ

イギリス生まれの高級ブランドを扱うeコマース運営企業

ティッカーコード: FTCH US

組入: 42位(0.8%)

業種: 小売

株式時価総額*1: 0.9兆円

売上高(2019年)*2: 1,109億円

【銘柄概要】

- 2007年創業のイギリスのeコマース運営企業。
- 出店する企業・百貨店などは1,200を超え、日本を含む世界190か国の消費者にサービスを提供。
- グッチ、フェンディ、ヴェルサーチ、プラダなど高級ブランドを中心に、取扱いブランド数は3,400超。
- グローバルに取扱いブランドを展開する企業は、同社の独自の物流・在庫管理のテクノロジーを使うことによって、効率的にオンライン販売が可能。また同社は、最新技術を活用するなど様々なテクノロジーやサービス開発も手掛けている。

【投資のポイント】

- 新型コロナの感染拡大により、ブランド企業は従来の実店舗での販売等が困難となっているものの、消費者の高級ブランドへの需要は依然根強く、需要はあるが商品を提供する「場」がないことが課題となっている高級ブランド企業が多い。この課題を解決するために、同社のサービスへの需要が拡大。2020年4-6月決算では売上が74%（前年同期比）と大幅に拡大した。
- グローバルに事業を展開していることから、中国等への進出による更なる収益余地も大きい。

■ 株価と売上高の推移

(期間: 2018年9月21日～2020年9月30日、
売上高は2018年～2022年)

・売上高(予想売上高含む、2020年10月6日時点のBloomberg予想値)は銘柄の会計年度で記載しております。

*1: 2020年9月30日時点の為替レート(1米ドル=105.48円)で円換算しています。*2: 会計年度末の為替レートで円換算しています。・組入比率は当ファンドの代表的なファンドである<為替ヘッジあり>(資産成長型)の純資産総額に対する割合です。・業種は、GICS(世界産業分類基準)によるものです。・上記は、当ファンドの商品性をご理解いただくことを目的として、2020年8月に新規組入した銘柄をご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

(出所)Bloombergのデータ、会社HP等を基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

米国IPOニュースステージ・ファンド<為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(年2回決算型/資産成長型)

2020年8月の新規組入銘柄

リヴォンゴ・ヘルス

テクノロジーを駆使した、オンライン診療サービス企業

ティッカーコード:LVGO US

組入:48位(0.7%)

業種:ヘルスケア機器サービス

株式時価総額*1:1.5兆円

売上高(2019年)*2:185億円

【銘柄概要】

- 糖尿病や高血圧、うつ病などの慢性疾患を遠隔モニターする装置と、AI(人工知能)を駆使した患者へのアドバイスを提供。
- 同社の血糖値モニター装置を使えば、24時間血糖値をモニターできるだけでなく、インターネットでデータを送信することで、リアルタイムでアドバイスを受けることが可能。
- 費用を患者本人からではなく、企業や政府機関、労働組合から請求するシステムを採用しているのが特徴。
- 2020年4-6月決算では、売上が125%増の9,190万米ドル、登録者は113%増の41万人以上、法人顧客は75%増の1,328団体となった。

・売上高:前年同期比

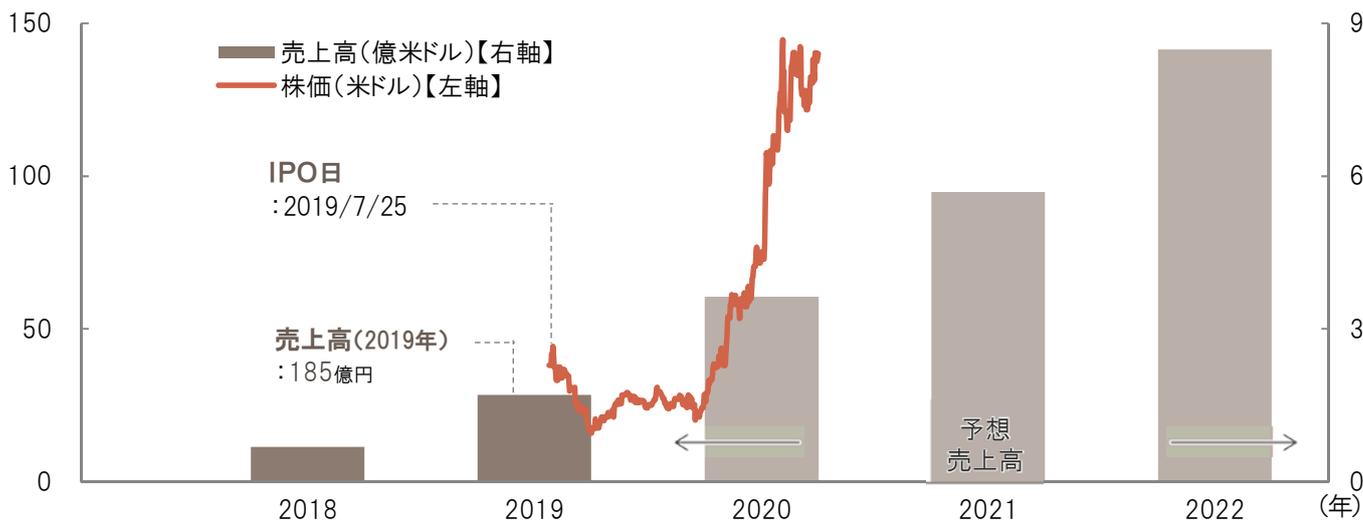
・登録者、法人顧客:前年比

【投資のポイント】

- 米国の糖尿病、高血圧等の慢性疾患患者数は膨大で、1億4,700万人いるとされている。同社は同分野の市場規模を467億米ドルと見込んでおり、潜在市場は極めて大きいと考えている。
- 遠隔医療、デジタルヘルスケアは、これらの疾患の有効なモニタリング、治療ツールである一方、普及しはじめたばかりであり、今後の利用拡大が期待される。
- 同社は、AIなどの最新デジタル技術の活用により、効率的にサービスを提供できるなど優れたビジネスモデルを有している。
- 年末には、遠隔医療サービス大手のテラドック社との合併が予定されており、テラドック・ユーザーの利用拡大が期待される。

■ 株価と売上高の推移

(期間:2019年7月25日~2020年9月30日、売上高は2018年~2022年)



・売上高(予想売上高含む、2020年10月6日時点のBloomberg予想値)は銘柄の会計年度で記載しております。

*1:2020年9月30日時点の為替レート(1米ドル=105.48円)で円換算しています。*2:会計年度末の為替レートで円換算しています。・組入比率は当ファンドの代表的なファンドである<為替ヘッジあり>(資産成長型)の純資産総額に対する割合です。・業種は、GICS(世界産業分類基準)によるものです。・上記は、当ファンドの商品性をご理解いただくことを目的として、2020年8月に新規組入した銘柄をご紹介します。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

(出所)Bloombergのデータ、会社HP等を基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

米国IPOニューステージ・ファンド<為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(年2回決算型/資産成長型)

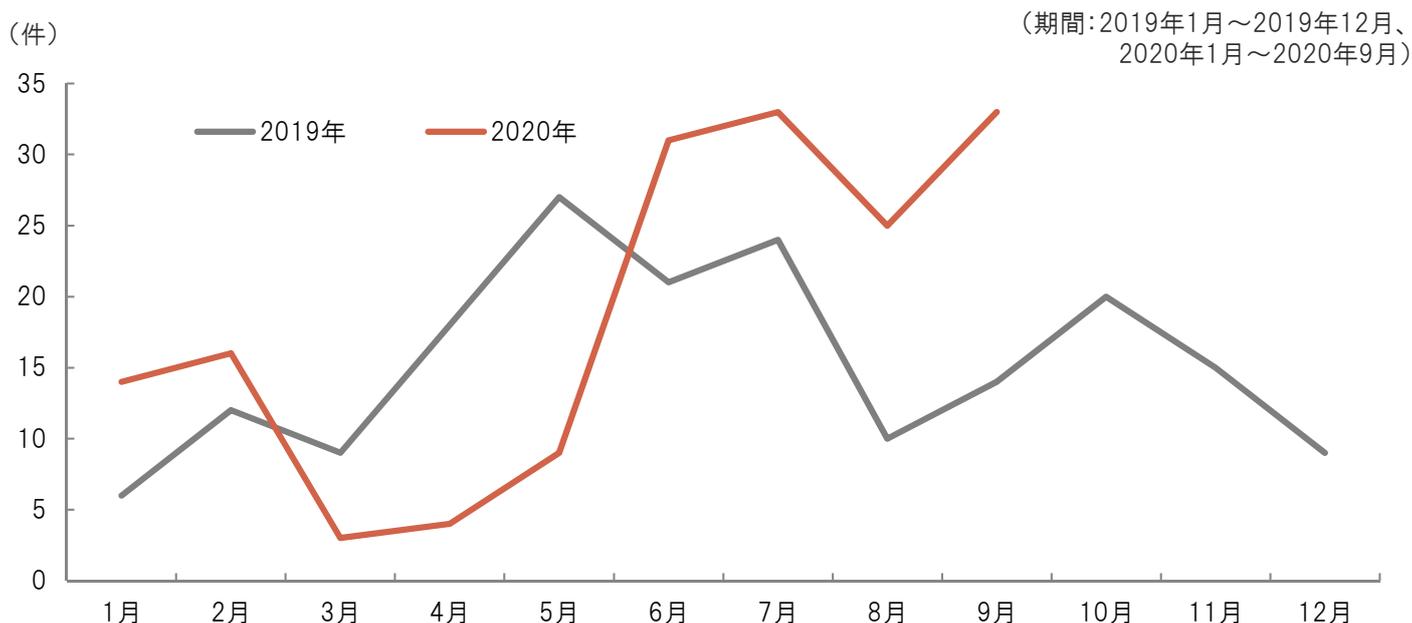
米国IPO市場の動向 ～6月以降高水準が継続～

米国IPO市場は、新型コロナの感染拡大等により、2020年前半は低迷していました。しかし、6月に入ってから回復し、件数・資金調達額ともに前年を上回る水準を継続しており、活況となっています。

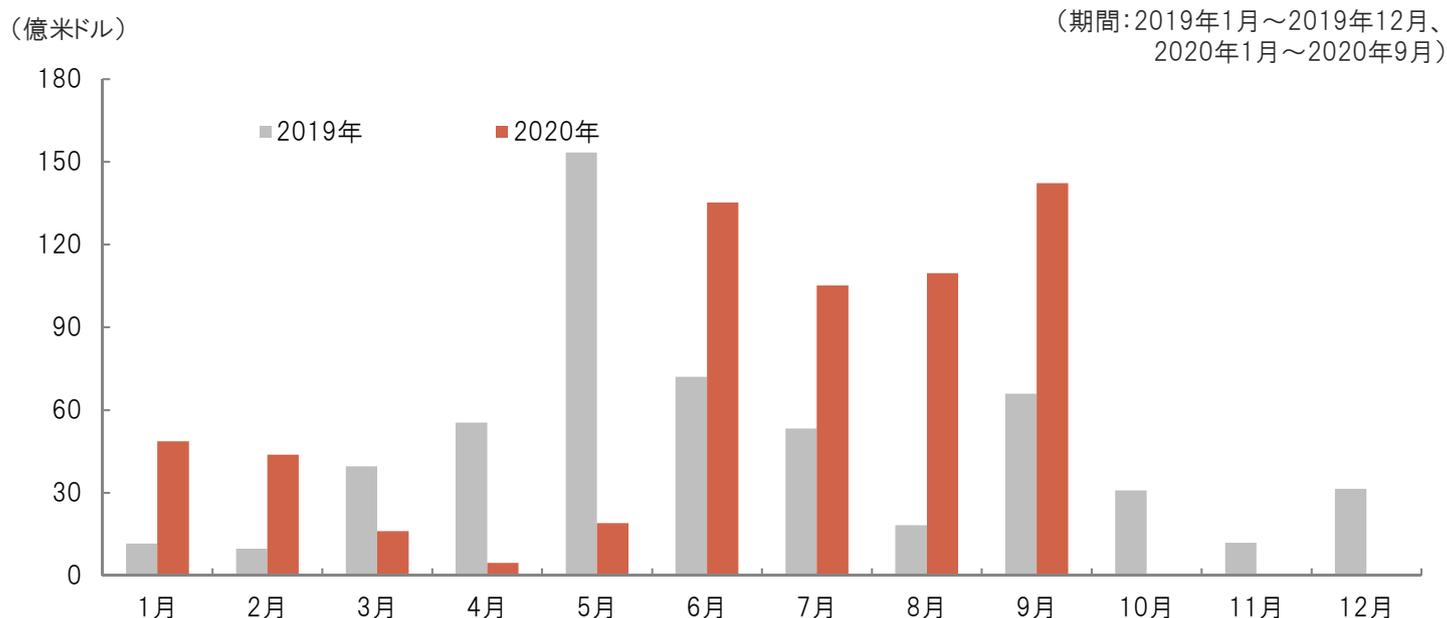
その中でも「データ管理」、「金融サービス関連」等に優れた技術を持つ企業が目立つ他、「バイオ関連」でも興味深い企業が株式公開しています。

このように件数、調達額ともに充実しているIPO企業とそれを取り巻く市場は、米国の技術革新の波が新たなサイクル入りしていることを如実に表していると考えられます。

2019年と2020年の米国IPO件数



2019年と2020年の米国IPO資金調達額



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

米国IPOニュースページ・ファンド〈為替ヘッジあり／為替ヘッジなし〉(年2回決算型／資産成長型)

米国IPO市場の動向 ～過熱感や話題先行の兆しも～

このように米国IPO市場は活況を呈していますが、足下、過熱感や話題先行の兆しも見受けられます。金融緩和などによって行き場を失った余剰資金が、優れていると考えられる企業に集中し株価が高騰する傾向が一部見られます。

日本でも話題になりましたが、IPO前から大きな注目を集めた、「スノーフレイク」や「パランティア・テクノロジーズ」などはIPO後に株価が高騰しましたが、それらの企業の株価水準はよく見極める必要があると考えています。

当ファンドでは、注目度が高い企業の銘柄調査はもちろんのこと、目立たなくとも隠れた優良銘柄の発掘も地道に行い、企業収益の成長性が見込まれる銘柄を適正な株価水準で組み入れる運用を継続して行っていきたいと考えています。

2020年6-9月IPO 時価総額上位10

	企業名	業種	上場日	時価総額 (億米ドル)*
1	スノーフレイク	ソフトウェア・サービス	2020/09/16	705.0
2	ロケット・カンパニズ	銀行	2020/08/06	398.3
3	ロイヤルティ・ファーマ	医薬品・バイオテクノロジー・ ライフサイエンス	2020/06/16	255.4
4	ユニティ・ソフトウェア	ソフトウェア・サービス	2020/09/18	233.1
5	グッドアールエックス・ホールディングス	ヘルスケア機器サービス	2020/09/23	216.0
6	ズームインフォ・テクノロジーズ	メディア・娯楽	2020/06/04	174.7
7	パランティア・テクノロジーズ	ソフトウェア・サービス	2020/09/30	156.6
8	ワーナー・ミュージック・グループ	メディア・娯楽	2020/06/03	146.6
9	オーク・ストリート・ヘルス	ヘルスケア機器サービス	2020/08/06	128.7
10	ダン・アンド・ブラッドストリート ホールディングス	商業・専門サービス	2020/07/01	108.5

IPO市場で注目を集める「直接上場」

2020年9月30日に「直接上場」という手法を用いて、「パランティア・テクノロジーズ」と「アサナ」の2社が上場しました。

「直接上場」とは従来のIPOとは異なり、株式を新しく発行することによる資金調達をせずに既に発行されている株式を上場する方法です。新株を発行しないので新たな資金調達をせず、新株の引き受け手となる証券会社が不必要となり、上場の際の新株発行に関連する費用を大幅に削減することができます。一方で、「直接上場」には企業の知名度が高くないと市場取引が活発に行われにくいというリスクもあります。

足下では、企業による資金調達の方法が多様化しており、新株による資金調達を必要としない企業が、「直接上場」する動きが活発になっており、こうした上場方法の選択肢の増加は、IPO市場の追い風となることが期待されます。

直接上場した企業例

企業名	業種	上場日	時価総額 (億米ドル)*
スポティファイ・テクノロジー	メディア・娯楽	2018/04/03	450.6
スラック・テクノロジーズ	ソフトウェア・サービス	2019/06/20	153.2
アサナ	ソフトウェア・サービス	2020/09/30	44.5
パランティア・テクノロジーズ	ソフトウェア・サービス	2020/09/30	156.6

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・「2020年6-9月IPO 時価総額上位10」、「直接上場した企業例」は個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・業種は、GICS(世界産業分類基準)によるものです。*2020年9月30日時点

(出所)NASDAQ、Bloombergのデータ、各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

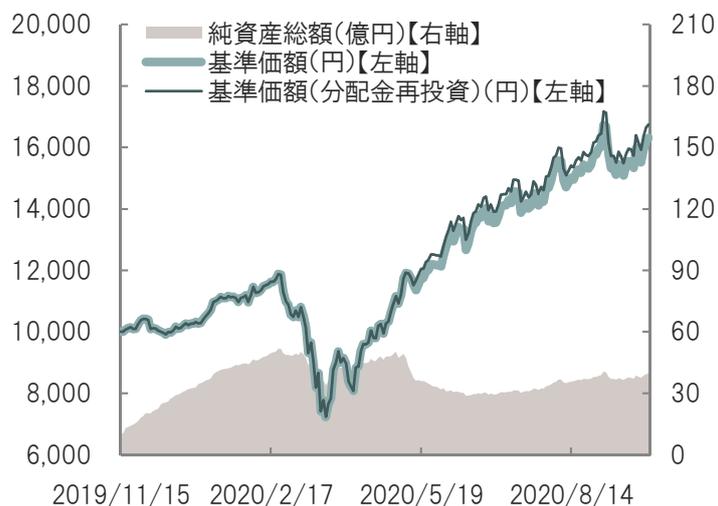
■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

米国IPOニュースステージ・ファンド<為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(年2回決算型/資産成長型)

設定来の基準価額等の推移

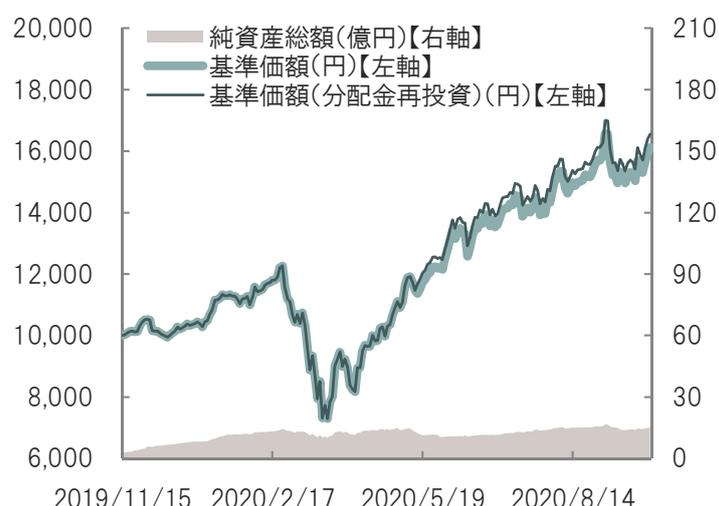
(期間:2019年11月15日~2020年9月30日)

<為替ヘッジあり>(年2回決算型)



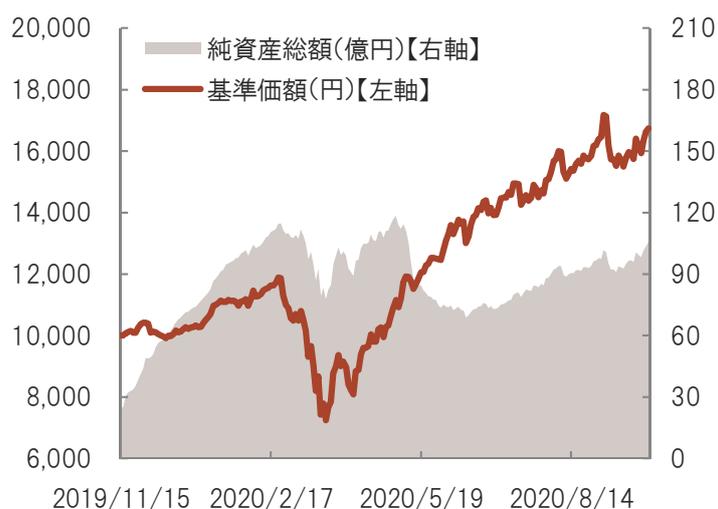
(年/月/日)

<為替ヘッジなし>(年2回決算型)



(年/月/日)

<為替ヘッジあり>(資産成長型)



(年/月/日)

<為替ヘッジなし>(資産成長型)



(年/月/日)

・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。なお、<為替ヘッジあり>(資産成長型)および<為替ヘッジなし>(資産成長型)は、表示期間において分配金のお支払いはありませんでした。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

米国IPOニューステージ・ファンド〈為替ヘッジあり／為替ヘッジなし〉(年2回決算型／資産成長型)

【本資料で使用している指数について】

■ ナスダック総合指数

ナスダック総合指数とは、米国のナスダック株式市場で取引されているすべての普通株で構成される株価指数であり、時価総額加重平均により計算されています。

【GICS(世界産業分類基準)について】

Global Industry Classification Standard(“GICS”)は、MSCI Inc. とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc. およびS&Pに帰属します。

本資料に関するご注意事項

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

- お客さま専用フリーダイヤル：
0120-151034(受付時間／営業日の9:00～17:00)
- ホームページアドレス：
<https://www.am.mufg.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

設定・運用

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

米国IPOニューステージ・ファンド<為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(年2回決算型/資産成長型)

ファンドの目的・特色

米国の株式を実質的な主要投資対象とし、主として値上がり益の獲得をめざします。

1 株式公開(IPO)から概ね5年以内の中型以上の米国株式(上場予定を含みます。以下同じ。)への投資を基本とします。

■ 原則として、株式時価総額が30億米ドル以上の株式(中型以上の株式)に投資します。

2 株式への投資にあたっては、新技術やビジネスモデル等に着眼し、企業収益の成長性が見込まれる銘柄を選定します。

3 為替ヘッジの有無により、<為替ヘッジあり>、<為替ヘッジなし>が選択できます。

■ <為替ヘッジあり>は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

■ <為替ヘッジなし>は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

4 <為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(年2回決算型)年2回の決算時(5・11月の各15日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

<為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(資産成長型)年1回の決算時(11月15日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

■ 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因: 基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動や為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスクです。上記は主なりスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用 購入時手数料…購入価額に対して、上限3.30%(税抜 3.00%)販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。 信託財産留保額…ありません。 ◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用 運用管理費用(信託報酬)…各ファンドの日々の純資産総額に対して、年率1.7875%(税抜 年率1.6250%)をかけた額 その他の費用・手数料 ・監査法人に支払われる各ファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※前述の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SB証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
OKB証券株式会社 (資産成長型のみ取扱)	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第191号	○			
極東証券株式会社 (資産成長型のみ取扱)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第65号	○			○
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第114号	○			
南都まほろば証券株式会社 (資産成長型のみ取扱)	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第25号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○